

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公開番号】特開 2006-53275 (P2006-53275A)

【公開日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【年通号数】公開・登録公報 2006-008

【出願番号】特願 2004-233877 (P2004-233877)

【国際特許分類】

G 0 2 B 17/08 (2006.01)

G 0 2 B 3/14 (2006.01)

G 0 2 B 5/10 (2006.01)

G 0 2 B 15/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 17/08 A

G 0 2 B 3/14

G 0 2 B 5/10 B

G 0 2 B 15/00

H 0 4 N 5/225 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 30 日 (2007.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学特性可変光学素子を含む光学素子群と少なくとも 2 つの光学素子群を有し、少なくとも 3 つの光学素子群を動かすことにより変倍を行うことを特徴とする光学系。

【請求項 2】

光学特性可変光学素子を含む光学素子群と少なくとも 2 つの光学素子群を有し、光学特性可変光学素子を含む群と少なくとも前記 2 つの光学素子群を動かすことにより変倍を行うことを特徴とする光学系。

【請求項 3】

光学特性可変光学素子を含む光学素子群と少なくとも 3 つの光学素子群を有し、光学特性可変光学素子を含めぬ光学素子群のうち少なくとも 3 つを動かすことにより変倍を行うことを特徴とする光学系。

【請求項 4】

光学素子群をさらに一つ以上有する請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の光学系。

【請求項 5】

可動な 3 つの光学素子群の後方に光学素子群がある請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の光学系。

【請求項 6】

光学特性可変光学素子を含む光学素子群を有し、その後方に少なくとも 3 つの光学素子群を有し、前記 3 つの光学素子群を動かすことにより変倍を行なうことを特徴とする光学系。

。

【請求項 7】

前記光学素子群のうち1つの群が正のパワーを持つことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の光学系。

【請求項8】

前記光学素子群のうち1つの群が負のパワーを持つことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の光学系。

【請求項9】

前記光学素子群のうち1つの群が正のパワーを持ち、もう1つの群が負のパワーを持つことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかの光学系。

【請求項10】

光学特性可変光学素子の前方に光学素子群が有り、光学特性可変光学素子の後方に少なくとも3つの光学素子群を有し、少なくとも3つの光学素子群を動かすことにより変倍を行なうことを特徴とする光学系。

【請求項11】

前記4つの光学素子群のうち1つの群が正のパワーを持つことを特徴とする請求項10の光学系。

【請求項12】

前記4つの光学素子群のうち1つの群が負のパワーを持つことを特徴とする請求項10の光学系。

【請求項13】

前記4つの光学素子群のうち1つの群が正のパワーを持ち、もう一つの群が負のパワーを持つことを特徴とする請求項10の光学系。

【請求項14】

前記光学特性可変光学素子の後方の光学素子群のうち1つの群が正のパワーを持つ移動群であることを特徴とする請求項10の光学系。

【請求項15】

前記光学特性可変光学素子の後方の光学素子群のうち1つの群が負のパワーを持つ移動群であることを特徴とする請求項10の光学系。

【請求項16】

前記光学特性可変光学素子の後方の光学素子群のうち1つの群が正のパワーを持つ移動群であり、もう一つの群が負のパワーを持つ移動群であることを特徴とする請求項10の光学系。